

## 藍サポ通信 ～明日に向かって～

Vol.20 発行日 2016年 4月 25日  
社会福祉法人藍

大阪市平野区平野南 3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの

大阪市平野区平野西 4-7-28

TEL (06) 6703-1711

発行責任者 保田 八十次

編集 藍サポートネットワーク広報委員会

<http://ai-snet.com>

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

「障がい」の記載について、藍サポ通信～明日に向かって～では「障がい」の記載方法を明確にするため、法律や公的に記載されているものを除いて「障がい」とひらがなで記載しています。法律名称や公的に漢字で記載されているものについては「ひらがなに変換せずに」そのまま記載しています。

### 社会福祉法人 藍 創立35周年記念式典

昨年、社会福祉法人藍は、昭和55年のひらの作業所の発足以来、35周年という節目を迎えました。昨年一年をかけて、広報委員が中心となって準備をし、設立当初からかかわってこられた利用者みなさんとそのご家族をお招きして、ささやかではございますが創立35年の記念式典を天王寺都ホテルにて開催することができました。

親子ともに高齢化していくなか、新しい世代が障害のある方々の生活を支える良き支援者となれるよう今後も努力して参ります。

今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 共同生活援助事業の廃止について

社会福祉法人藍では平成28年5月末をもって、共同生活援助を廃止いたします。

社会福祉法人藍では、ひらの作業所発足以来、一戸建てや市営住宅を共同生活の拠点として、平野区では先駆的に親亡き後の生活の場所作りに取り組んできました。

アットホームな雰囲気、単に寝泊りするだけの場所ではなく、生活場面でのいろいろな楽しみや役割を利用者の皆さんと共に考え歩んできた共同生活の場は、平野区においておそらく他にはないグループホームだったのではと自負しています。

そのような中、利用者の高齢化や医療的ニーズの高まりを迎え、共同生活の場を離れざるを得なくなった利用者の方もおり、それに加えて、夜間の職員配置の困難さといった課題を抱えるようになりました。いくつかの課題を抱えながらも、拠点の統合や人員配置の工夫などを行ってきましたが、職員の退職などもあり、誠に残念ではありますが、継続困難との法人判断により今回の廃止に踏み切ることとなりました。

これまで、ご利用いただいた利用者みなさん、そして何よりもその生活を支えていただいた職員みなさん、そして多くのご協力をいただいたご家族みなさんに感謝を申し上げます。 記事担当：保田

## 活動報告 共同生活援助 藍

長い月日であっても過ぎてしまえばあつという間だった…と感じる事は日常生活の中でも時々あります。グループホームでの生活を振り返ってみても、本当にあつという間だったなと感じます。

「楽しい生活を送るためにはどうすればよいか？」という事を利用者さんと一緒に考え、色々な取り組みにチャレンジしてきました。

「楽しい」についての感じ方は人それぞれで「これさえやっておけばOK」という明確な答えがいつでも用意されている訳ではありません。常に試行錯誤の連続だったと思います。

しかし、常に考えていかなければいけない状況こそがより良い生活へ向かっていくための道だったのではないかなと思いますし、私達を成長させてくれるきっかけになったと思います。

貴重な経験が出来て本当に良かったと思います。

平成28年5月をもって共同生活援助は終了しますが、共同生活援助で得た経験を今後どう活かしていくか？という事を常に考えながらこれからの頑張っていきたいと思います。

記事担当：芝田

## 活動報告 生活介護ひらの

3月30日（水）に生活介護ひらのと西事業所の合同で、お花見に行ってきました。

「お天気どうかな？」と前日から気にしている人も居て、楽しみにしている様子が伝わってきました。久宝寺緑地に向かう車内では、「お弁当どんなんやろ？」「桜咲いてるんかな？」と楽しく会話も弾んでいました。お天気も過ごしやすく、三分咲きほどでしたが、桜も咲いていて、春らしいお弁当を美味しく食べられていました。桜の花びらがヒラヒラと舞う中、上を見上げたり、落ちてきた花びらを集めたりと笑顔もたくさん見られて、みなさんとても楽しまれていました。



記事担当 吉村

## 活動報告

### 社会福祉法人藍くれよん・第二くれよん・地域生活支援センターHIRANO くれよん

お正月ということで、子供たちと一緒に書き初めをしました。干支を書いたり、食べ物の名前を書いたり、お正月にちなんだ言葉を書いたりといろいろな文字を書いて書き初めを楽しみました。みんなが書いた書き初めを壁一面に貼り鑑賞会もしました。



2月には恒例の節分大会をしました。今回も怖い鬼がやってきましたが、子どもたちが作った手作りの箱に豆を入れ、子どもたちは怖がりながら鬼に向かって「鬼は外、福は内」と言いながら豆を投げて鬼退治を楽しんでいました。



春は出会いの季節と共に別れの季節でもあります。

今年の春にもくれよんから卒業して新しい環境に旅立っていくお友達がいました。今まで一緒に過ごして色々な体験を一緒にしてきた者同士、別れというのはとてもさみしいことですが、新たな旅立ちへのエールをこめて、くれよんでささやかながら卒業式をしました。

『旅立ちの日に』を熱唱したり、応援のコメントを送るなどですが、笑顔があふれる式となりました。新しい場所にいっても、顔を見せに来てくれたり、いつでも気軽に会いにこれる場所であり続けたいと思います。



記事担当 米村

## 活動報告 生活介護ひらの 平野西事業所

生活介護ひらの（平野西事業所）では、木工活動を行っています。今回は、普段の活動の中で出来上がった作品を紹介させていただきます。

今回の作品はハンガー掛けです。利用者みなさんと職員が協力し合って、のこぎりやペンキを使って完成させました。およそ2か月を要して完成させた大作です！！



## ヘルパー日誌

ご存知ですか？平野区には居宅介護の事業所が100社ほどあるそうです。先日、平野区地域自立支援協議会が開催した居宅介護の事業所が集まったの会議に参加して初めて知りました。『100社』と聞いて人によっては多いと感じる方もいれば、少ないと感じる方もいるでしょう。私自身、平野区の障がい福祉に18年間携わっていますが、18年前にくらべると事業所の数は圧倒的に増えています。ただ、ヘルパー不足や、支援の質の向上といった現状は18年前とあまり変わらない気がします。実際、会議に参加していたどの事業所も抱える問題は共通していて、単に事業所の数が増えるだけではこれらの問題が解消するわけではないことがわかりました。解決に向けて何をどうしていいかわかりませんが、事業所同士が協力しあえる関係作りをたくさん築くことは必要だと思います。私は現在、相談支援事業の相談専門員として、地域の事業所さんと携わる機会が多くなる立場での仕事もさせてもらっています。自分にできることをコツコツと積み重ねながら色々な事業所さんと一緒になって平野区の障がい福祉を変えていければと思います。「さあ～、19年目突入だー」

記事担当 山川



今回のくれよん cooking はお休みさせていただきます。  
次回にご期待ください。

藍サポートネットワークでは随時職員・ボランティアを募集しています。

経験の有無を問わず介護サービスに従事されることを希望される方は下記連絡先までご連絡下さい

社会福祉法人藍 大阪市平野区平野南 3-11-35

TEL (06) 6799-1065

有限会社 ひらの 大阪市平野区平野西 4-7-28

TEL (06) 6703-1711

メールアドレス：asn@ai-snet.com

### フリースペース

季刊誌「藍サポ通信」に記事を投稿してみませんか？身近な事から皆さんのお役に立つ情報など幅広い記事を掲載したいと考えています。ご投稿頂いた記事は、フリースペースで紹介させていただきます。詳しくはお近くの職員又は下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

メールアドレス：asn@ai-snet.com

ホームページでは藍サポートネットワークの様々な情報提供をしています。

当季刊誌もカラーでご覧いただくことが出来ます。また、季刊誌に掲載する事のできなかった記事・情報についても順次ホームページに掲載していきますので、是非ご活用下さい。

ホームページ：http://ai-snet.com または Google 「藍サポートネットワーク」で検索